

○令和5年度 福祉学習実施数

No.	実施日	講座名	担当課	共催団体名	参加人数	講座の成果と課題
1	11月13日	「みんなのぼうさい」 -インクルーシブな社会を実現しよう-	疾病対策課 重層的支援推進担当課	尼崎市難病団体連絡協議会	32人	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が人工呼吸器を装着している子の家族へ聞き取り、当事者の代弁として発表するなど、障害のある当事者の防災の取組について共有する場となった。 ・改めて人と人との繋がり大切さを実感し、共通のテーマや同じ思いを共有できる同志が会うきっかけの場づくりが必要だと認識した。
2	12月12日	「人とペットの防災対策」	重層的支援推進担当課	尼崎市動物愛護センター 園田北まちづくり協議会	42人	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で関心のあるペット防災をテーマに、広く地域住民に防災について、交流や学びの場として呼びかけ、地域全体での防災意識の向上と地域防災の担い手確保につなげる機会として実施した。
3	12月18日 2月3日 2月10日 3月3日	「フレイル予防と防災」 要支援者を守る持続可能な取組	包括支援担当課 重層的支援推進担当課	医療介護連携協議会 兵庫県立尼崎小田高等学校フレイル予防×防災探求チーム	98人	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の進展により支援を必要とする高齢者が増える一方で、支える専門家不足も大きな課題となっている。こうした中で、毎年、激甚化・頻発化する風水害をはじめ、地震等の災害時においても、高齢者を支える仕組みが求められている。これらの課題に対応するために、尼崎市医療介護連携協議会監修のもと、高齢者の健康寿命を延ばし、いきいきと暮らし続けていくための「フレイル予防」の取組と災害時の避難行動要支援者の避難支援の基本となる“防災における自助”の取組が共通する“日頃からコツコツ取り組むことが必要”という点に着目し、「フレイル予防」と「防災における自助」の取組を一体的にした啓発物の製作を行った。 ・具体的な取組としては、冊子「災害時に役立つ生活習慣づくり」～フレイル予防における「栄養」の視点をふまえた防災食の取組～と動画「日頃の取組で備えよう！「フレイル予防」と「防災」を製作した。今後は、市の出前講座やホームページ、小田高校の取組や福祉専門職の協力を依頼して広げていく。